

# 社会資本総合整備計画

〔鹿児島市における都市公園の整備推進と安全安心化〕

## 事後評価シート

平成30年12月

(鹿児島県 鹿児島市)

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 30 年 12 月

計画の名称	鹿児島市における都市公園の整備推進と安全安心化		
計画の期間	平成26年度 ～ 平成30年度 (5年間)	交付対象	鹿児島市
計画の目標			

鹿児島市における都市公園は、防災機能強化など住民の多様なニーズに対応した公園の整備が必要であるとともに、既設公園の老朽化した施設の改修やバリアフリー化も求められている。そのため、園路広場やトイレ等のバリアフリー化や、公園施設長寿命化計画に基づき適切に維持管理されている公園施設の改築を実施することにより、公園施設に係るトータルコストの低減を図るとともに、都市公園の適正な管理による利用者の安全・安心を確保し、高齢者や障がい者等も含めたより多くの市民が利用しやすい公園づくりを目指し、より一層の利用促進が期待される。

計画の成果目標（定量的指標）

・平成30年度までに、都市公園における園路・トイレ等のバリアフリー化や老朽化した公園施設の改築等による再整備率 26 %

定量的指標の定義及び算定式

都市公園の公園施設改築等の状況をもとに算出する。  
 （都市公園施設の再整備率）＝（公園施設の改築等を行った公園数）／（平成26年4月1日現在で開設している公園数）（％）

定量的指標の現況値及び目標値			備考
当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)	
22%	-	26%	

全体事業費	合計 (A+B+C)	517 百万円	A	462 百万円	B	0 百万円	C	55 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	10.6 %
-------	---------------	---------	---	---------	---	-------	---	--------	---------------------------	--------

事後評価

○ 事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
・鹿児島市公共事業評価検討委員会（内部）での審議	・平成30年11月
・鹿児島市事業評価監視委員会（外部）での審議	公表の方法
	・ホームページへの掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

A1 基幹事業											全体事業費 (百万円)	備考				
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）							
									H26	H27			H28	H29	H30	
A-1	公園	一般	鹿児島市	直接	鹿児島市	都市公園事業（鴨池公園）	43.2ha 野球場等の改築	鹿児島市							144	
A-2	公園	一般	鹿児島市	直接	鹿児島市	鹿児島市都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業	牟礼岡中央公園等17箇所の園路・トイレのバリアフリー化	鹿児島市							190	
A-3	公園	一般	鹿児島市	直接	鹿児島市	鹿児島市公園施設長寿命化計画策定事業	公園施設長寿命化計画策定	鹿児島市							19	
A-4	公園	一般	鹿児島市	直接	鹿児島市	鹿児島市公園施設長寿命化対策支援事業	明和中央公園等24箇所における遊具施設の改築	鹿児島市							109	
合計											462					

B 関連社会資本整備事業（該当なし）

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業主体	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H26	H27	H28	H29	H30		
合計											0					
合計											0					

C 効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H26	H27	H28	H29	H30		
C-1	公園	一般	鹿児島市	直接	鹿児島市	鹿児島市都市公園公園施設の改築・更新	小規模公園における公園施設の改築	鹿児島市						55	
合計									55						

番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考
C-1	鹿児島市都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業（A-2）及び鹿児島市公園施設長寿命化対策支援事業（A-4）とあわせて整備することにより、安全で安心して利用できる公園施設となることで、より一層の利用促進を図る。										

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<p>・公園施設のバリアフリー化や老朽化した公園施設の改築等を行った結果、公園が高齢者や障がい者等も含めたより多くの市民にとって、安全・安心が確保され、利用しやすい空間となり、来園者数の把握が可能な平川動物公園では、計画当初に比べ来園者数が約8%増加するなど、一層の利用促進が図られた。</p>			
II 定量的指標の 達成状況	都市公園における園路・トイレ等のバリアフリー化や老朽化した公園施設の改築等による再整備率	最終目標値	26%	目標値と実績値に差 が出た要因	
		実績値	26%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					
3. 特記事項（今後の方針等）					
<p>今後も引き続き、公園施設長寿命化計画に基づいて、老朽化した公園施設の改築を実施することにより、公園施設に係るトータルコストの低減を図るとともに、利用者の安全・安心を確保し、より多くの市民が利用しやすい公園づくりを目指す。</p>					